

2016年「化粧品香料講習会」の内容

東京会場（薬業健保会館）：9月12日 13：00～17：00

大阪会場（大阪薬業クラブ）：9月 6日 13：00～17：00

化粧品香料概論

講師：今野悦郎（小川香料株式会社）

1. 香料とは
2. 化粧品香料の素材/植物から生成するにおい物質
3. 調香の技術/においの表現
4. 嗅覚のメカニズム
5. 化粧品香料の安全性とコンプライアンス

天然香料および化粧品の香気分析

講師：遠藤普克（塩野香料株式会社）

1. 分析への取り掛かり
2. サンプルング手法とその実際
 - ・ ヘッドスペース分析手法
 - ・ 蒸留および不揮発性成分除去の手法
 - ・ 抽出手法
3. 機器分析
 - ・ ガスクロマトグラフィー
 - ・ 質量分析（分析計、成分同定）
 - ・ 匂い嗅ぎを主とする手法
 - ・ MDGC、GC x GC、その他（NMR）
4. 分析事例紹介

ファインフレグランス 今と昔

講師：三宅徹志（曾田香料株式会社）

1. フレグランス 基本香調
2. フレグランス 香りの変遷
3. フレグランス 最近の香りの潮流
4. フレグランス 原料の変遷
5. フレグランス ムスクの役割

2016年化粧品香料講習会を開催

東京、大阪にて

2016年化粧品香料講習会を下記により開催した。

大阪地区：9月6日(火) 午後1時～午後5時

於：大阪薬業クラブ

東京地区：9月12日(月) 午後1時～午後5時

於：薬業健保会館

講師と演題は次の通り(敬称略)。

①今野悦郎(小川香料)：

「化粧品香料概論」

②遠藤普克(塩野香料)：

「天然香料および化粧品の香気分析」

③三宅徹志(曾田香料)：

「ファインフレグランス 今と昔」

2年ぶりの開催となった化粧品香料講習会は、東京会場が91名、大阪会場が63名と、両会場ともほぼ目標とする参加者があった。東京会場で挨拶された澤田副会長は大要次のように述べた。

「3年に一度の化粧品香料講習会ということで、本日は多数の出席者がありますが、協会としても講習会は重要なイベントで、特に若い人にとっては貴重な機会だと自負しています。



ご挨拶される澤田副会長(東京会場)



ご挨拶される林大阪事業委員長(大阪会場)

さて、日本の香料市場は2000億円と言われてきましたが、この4、5年で1800億円程度に縮小してきました。その多くは食品香料で失われています。化粧品香料も徐々に減ってきて、推定180億円規模で



若い受講生で一杯になった東京会場



今野講師



遠藤講師



三宅講師

あり、香料市場で10%程度になります。世界的にみるとこれは特異な状況で、世界では食品と化粧品は半々の規模であります。

香料に求められるのは、嗜好性のみならず、機能性も注目されてきました。そういった意味で、新しい価値として化粧品香料は、大きな可能性を秘めている市場だと思います。皆さんが今後、化粧品香料の新しい分野を開拓する大きな志を持って、5年後、10年後に新しい市場を切り開いてくれることを心から期待しています」

また、大阪会場では林大阪事業委員長が「一般の人にとっては香料というと、石鹼、洗剤やシャンプー、化粧品といった化粧品香料をイメージします。こうした商品は香りのインパクトが強く、香りを楽しむことができるからだと思います。本日お集まりの皆様には、香りと睡眠や香りと食欲など、まだまだいろいろな開発テーマがあると思いますので、積極的にチャレンジしてほしいと思います。本日の講義がその一助になることを願っています」とご挨拶され、多数のご参加にお礼を述べられた。

各講義の主な内容は次の通り。

I 化粧品香料概論：

- ①香料とは ②化粧品香料の素材／植物から生成するにおい物質 ③調香の技術／においの表現 ④嗅覚のメカニズム ⑤化粧品香料安全性とコンプライアンス

II 天然香料および化粧品の香気分析：

- ①香りへの取り掛かり ②サンプリング手法とその実際／・ヘッドスペースぶんせきほう・蒸留および不揮発性成分除去の手法・抽出方法 ③器機分析 ④分析事例の紹介

III ファインフレグランス 今と昔：

- ①フレグランス・基本香調 ②フレグランス・香りの変遷 ③フレグランス・最近の香りの潮流 ④フレグランス・原料の変遷 ⑤フレグランス・ムスクの役割